

平成24年度
実施事業

事務事業名 ものづくり創出支援事業負担金

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	2	域内経済循環の基礎となる複合的産業基盤の形成
小分類	2	多様な分野の交流・連携による新たな産業の創出
主要な施策	2	②異業種間・同業種間、産学官連携の促進
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 15 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	市内における新製品、新技術の創出や市場開拓に向けた活動を支援することにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	(公財)室蘭テクノセンターが行う「ものづくり創出支援事業」に対して、市内中小企業が活用した事業に係る経費を負担する。 【事業実績】 市内中小企業活用実績 4件 (内訳) ・製品・技術事業化支援事業 1件 728千円 ・商品化推進支援事業 2件 600千円 ・市場開拓支援事業 1件 136千円
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	新製品の開発や販路開拓を促進し、地域経済の活性化を図るため、今後も引き続き「ものづくり創出支援事業」の市内事業者活用分を負担する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	1,930	1,456	2,500	2,500	2,500
事業費 合計			1,930	1,456	2,500	2,500	2,500

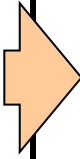
指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 市内事業者からの申請件数	件	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4			
	② 市内事業者からの採択件数	件	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4			

比較 《 Check 》

<p>平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等</p> <p>・目標値は達成しているものの、事業全体としての利用件数が少ない状況である。</p>	<p>左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等</p> <p>・これまでの広報等による周知に加え、企業あてのメールマガジン等により、ものづくり企業に対しダイレクトに情報が伝達するよう工夫する。</p>
---	--



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について		
<p>市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？</p>	<p><input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である</p> <p><input type="checkbox"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している</p>	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>市や商工会議所が行うべき事業を（公財）室蘭テクノセンターが実施しており、当該事業について、市内企業が活用した経費相当を負担金として支出するものであることから、妥当性はある。</p>
2. 事務事業の必要性について		
<p>市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある</p> <p><input type="checkbox"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い</p> <p><input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い</p>	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>地域経済を支える中小企業に対して、室蘭圏域で蓄積された技術や人材等を活用し、新製品、新技術の開発等の支援を行うものであることから、事業の必要性は高い。</p>
3. 事務事業の効率性について		
<p>事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？</p>	<p><input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 将来的に効率性を向上できる</p>	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>事業主体は、（公財）室蘭テクノセンターであることから、企業支援にかかる事務経費が低く、小さい労力に比べて効果が高いものとする。</p>
4. 事務事業の成果について		
<p>目的を達成するための成果はあがっていますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> ① 成果指標の向上が見られる</p> <p><input type="checkbox"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる</p> <p><input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 成果の把握は困難である</p>	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>技術や人材等の産業資源の活用幅広く対応した支援を行うことにより、新たな商品の開発や販路拡大等が促進され、登録ブランド推奨品に認定される等、中小企業等の振興が図られている。</p>

①担当グループによる評価 《 Check 》

維持	<p>左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)</p>	<p>本来、市や商工会議所が担うべき事業を室蘭テクノセンターが持つ人材、技術等の連携を活用することで、効果的に事業が実施されており、毎年、市内の中小企業等が活用することで、市内産業の育成及び発展に寄与している。</p>
----	-----------------------------	---

②行政評価会議による評価 《 Check 》

維持	<p>備考</p>	
----	-----------	--